



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年9月25日(火)

第2602回 例会

(本年度第11回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(10/2)のメインプログラム

ゲストスピーチ
米山奨学生 馬可氏

次週(10/9)のメインプログラム

移動例会
木村屋ファクトリーストア

会長挨拶

阿部純次君

先週の9月19日(火)、午後6時30分より東京第一ホテル鶴岡において、当クラブの新旧会員増強・会員維持委員会が開催されました。

出席者は、昨年度委員会より丸山隆志理事、富樫松夫委員長、藤川享胤委員、本年度委員会よりは、本間厚理事、佐藤孝子委員長、青柳孝治委員、牧衛委員、伊藤博委員、阿部純次を入れ9人の出席で開催いたしました。

本年度長期計画委員会の会員増強は、向こう5年間で純増10名、会長・会員増強委員会での本年度の計画は、純増2名となっております。

会員増強はクラブの永遠の課題でありクラブ発展の原点であります。さし当り純増2名、そして会員50名実現のためには会員増強委員会のみならず、会長・幹事そしてクラブ会員挙げて行うことが重要であります。

新旧委員会において具体的な引継ぎや新たな会員勧誘者のリストも提示されました。一昨年の牧委員長の時に、会員増強・情報提供例会を開催いたしました。今年度も会員増強委員会とプログラム委員会に日程等を調整していただき、会員増強・情報提供例会を開催したいと考えております。

5年以内の近い将来に、50人を上回る鶴岡RCを再構築できるよう組織をあげて努力致しましょう。

さて、今月9月は、先々週の例会における真島情報委員長長の「ロータリーの友」紹介報告にあったとおり、「新世代のための月間」(New Generations Month)です。1996-97年度(H8-H9)から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に焦点を当てる月間となっております。

クラブと地区は新世代の基本的ニーズ、すなわち健

康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

RCは「各ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian an Example Youth)という標語を「新世代のための月間」中のクラブ会報や広報資料に使うよう奨励されています。1949年(S24)に、RI理事会は、「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を採択しました。これはロータリー・クラブのある各地域社会の子供たちや青少年たちへの献身を表現しています。若い人々への奉仕は、長年にわたってロータリー・プログラムの重要な一部となっています。

世界では、さまざまな形の青少年奉仕プロジェクトが行われています。ロータリアンが提唱しているものには、ボーイスカウト、ガールスカウト、運動競技チーム、障害児童センター、学校の安全パトロール、夏期キャンプ、リレーション場、安全運転講習会、共進会、育児センター、子供病院などがあります。数多くのクラブが職業相談を提供し、青少年雇用プログラムを設置したり、「四つのテスト」の活用を促進しています。薬物とアルコールの濫用防止やエイズの認識向上プロジェクトを支援するロータリアンも増えています。

あらゆる場面でロータリアンは、地域の青少年に模範を示す機会があります。人は他の人々の行いを見て奉仕することを学びます。地域の青少年が成人して指導者となったとき、一人ひとりが将来の世代に奉仕するという、同じ願望と精神を成就してくれることを、ロータリアンは願っているのです。50年以上前に採択されたこの標語は、今日も変わらず重要なものとして受け入れられています。

「新世代月間」、特に今月は、ロータリー要覧に謳われているように、青少年育成にも力をいれるぞ!と、「認識を新たにすることから始めなければならない」と思った次第です。

出席報告

会員数	41名
出席	24名
出席率	61.54%
前々回確定出席率	84.62%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ガバナー事務所

○地区大会参加のお願い

GE事務所

○地区役員選出について

鶴岡東高校奉仕部について

鶴岡東高校 IAC顧問 古原 大樹 先生



1.最近の高校生の印象

積極的に何かに挑戦できる生徒が少なく、そういった生徒たちの成長の場が必要です。その一つの契機としての、ボランティア活動(奉仕活動)が重要です。

2.インターアクトクラブとは

インターアクトは青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクト・クラブは、支援や指導を与えるロータリー・クラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

クラブ会員の構成はさまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。毎年、インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。

奉仕活動は、インターアクターの活動の真髄です。奉仕活動を行うことでインターアクターたちは次のような大切なことを学びます。

- ・指導力と人間としての高潔さ
- ・他者を助け、他者を尊重すること
- ・個人の責任と懸命に努力することの価値
- ・国際理解と親善を推進すること

ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、109余りの国や地域にある10,700以上のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、200,000人近くの若者がインターアクトとかかわりを持っています。

(国際ロータリーのホームページより)

3.新世代奉仕

2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第5条に、以下のように定義されています。

奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ま

しい変化がもたらされることを認識するものである。

新世代奉仕では、クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクトにおける青少年や若者の参加を促進し、こうした世代の支援を目的としたプログラムやリソースをクラブが積極的に提供していくことが重要です。(『国際ロータリー 新世代奉仕入門』より)

4.鶴岡東高校奉仕部(インターアクトクラブ)について

今年の部員は41名です。その中で活動に積極的な生徒が2~3名、だんだん面白さに気づいてきた生徒が5~6人と、まだほとんどの生徒が参加することに腰が重い状況です。奉仕活動は、参加すれば楽しさがわかります。むしろ積極的な行動が苦手な生徒に声をかけ、苦手を克服していければと思います。

ローターアクトクラブ40周年記念式典

鶴岡RAC 直前会長 相沢 貴史 君

来月の11/3に、ローターアクトクラブ40周年記念式典があります。現在急ピッチで準備を進めています。記念行事として、植樹を企画しております。日程は後日ご報告させていただきます。



委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

古原大樹先生(鶴岡東高校 IAC顧問)

相沢貴史君(鶴岡RAC 直前会長)

◎ビジター

仲川昌夫君(東京東江戸川RC)

◎メイクされた方

牧 衛・塚原初男・嶺岸禮三

スマイル 😊

阿部純次君 古原先生、IAC活動についてのスピーチありがとうございました。先生のスピーチを聞き、IACや生徒への理解が深まったような感じがします。今後ともよろしくお願いします。

青柳孝治君 27日、朝8時15分からのNHKの「あさいち」の番組で鶴岡へのキビソ製品について中継放送があります。興味のある方はぜひご覧になって下さい。

加藤 亨君 先日、長男が無事に消防学校を卒業しました。

西川富美子君 古原先生、スピーチありがとうございました。卒業生の佐藤さんも7年目に入って頑張っています。私事ですが、運行管理者の合格の発表が今日ありました。